

平成29年度 福利厚生部事業報告

1 活動方針

- (1) 会員意識を高め、教職員の健康づくりと環境整備に努める。
- (2) 福利厚生諸機関との連携を図り、関連事業を推進する。
- (3) 各年代層を通じて参加しやすい親和活動を展開する。

2 事業内容

月	日	事業名	事業内容
4	26	教育事情視察研修参加者募集	・各校へ申込用紙の送付
5	9	第1回福利厚生部会	・事業計画、予算配分 ・各種事業の運営計画について
	15	福利厚生研究会（第1回部長会）	・活動方針、事業計画、役員選出等
6	13	福利厚生研究会（第2回部長会）	・夏季研修会、中央ボウリング大会等
	23	支部ボウリング大会	・団体戦（ブロック+本部=6人×4+6人=30人） ・個人戦 参加賞、景品、飲物代 ・中央（県）大会参加者の決定
7		教育事情視察研修派遣（台湾） 29日（土）～8/2日（水）	・参加者（1名）の補助は本部負担
8	11	中央（県）ボウリング大会	・男女各3名 計6名が参加 ・旅費及び日当は本部負担
	21	福利厚生夏季研修会	・部長、副部長が指名参加 ・2名の旅費は本部負担 ・一般参加者で3名が参加
	21	愛教研八幡浜支部懇親会 （「愛教研を語る会」懇親会）	・懇親会（会費制）の実施により、会員の親和を深める （参加者66名）
12	5	福利厚生研究会（第3回部長会）	・活動の反省
1	6	いちご狩り	・会員の親睦と家族との団欒 ・入園料の補助（参加者149名）

3 今年度の反省と来年度への志向

- (1) 支部ボウリング大会は、楽しく和やかに開催することができた。実施時期を昨年度から平日（金曜）の夕方に変更している。土日は学校行事等で都合が悪い学校があるので、来年度も中学校総体が終了した6月末か7月初めの平日の実施で検討してはどうか。県大会（中央ボウリング大会）において、宮内小の増池先生が個人優勝・真穴小の山下先生が個人3位になったのも喜ばしかった。
- (2) 愛教研八幡浜支部懇親会は、66名の参加で盛大に行い、各会員が親交を深めるよい機会となったが、年々参加者が減少している（26年度93名→27年度89名→28年度76名→29年度66名）。参加者が増えるように検討してはどうか。
- (3) 「いちご狩り」は、毎年参加者の多い人気のある事業となっている。今年は、1月初めの土曜日の午後に実施できるよう調整でき、昨年度より参加者が30名増え、最多となったのでよかった。
- (4) 今後も心の癒しとなる事業を計画し、事業の実施をとおして会員意識を高めるとともに、福利厚生部活動の活性化を図りたい。